富山市科学博物館
TOYAMA SCIENCE MUSEUM

富山湾におけるハゼ科魚類の記録

著者	南部 久男, 林 公義
雑誌名	富山市科学文化センター研究報告
号	13
ページ	113-116
発行年	1990-03-05
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=569

富山市科学文化センター研究報告第13号，pp.113-116 (1990)

富山湾におけるハゼ科魚類の記録*

南部　久男[1)]・林　　公義[2)]

Records of Gobiid Fishes from Toyama Bay, the Japan Sea

Hisao Nambu and Masayoshi Hayashi

Thirtyone species of gobiid fishes were recorded in Toyama Bay. Three species, *Istigobius campbelli, I. hoshinonis* and *Suruga fundicola,* were newly recorded in the Japan Sea.

富山湾のハゼ科魚類は、菊池(1931)、片山(1940)、津田(1973)の富山湾産の魚類目録によると、それぞれ21種、25種、25種が記録されている。また、鈴木(1966)は能登半島九十九湾の魚類相の中で10種、富山湾近海では、舳倉島の魚類相の中で松浦・新井(1986)が6種を報告している。最近、富山市科学文化センターの収蔵目録第3号で、富山県の淡水及び富山湾のハゼ科魚類30種が標本に基づいて報告された(南部，1989)。

今回、この目録と前述の報告等を比較した結果、富山湾での分布が初記録となるハゼ科魚類が認められたので、過去の記録と合わせ補訂した富山湾産ハゼ科魚類目録を発表する。

標本を寄贈頂き、文献について御教示いただいた富山県水産試験場、同土井捷三郎氏に厚くお礼申し上げる。

富山湾のハゼ科魚類の記録

富山湾及び富山県の淡水域に分布するハゼ科魚類として41種が記録されている(表1)。繁殖期以外の成魚の主な生息域が汽水から沿岸であるものを海産ハゼ科魚類とし、過去に記録のあるものも含めると、富山湾には31種のハゼ科魚類が分布する。ハナハゼ、イトヒキハゼ、アベハゼ、ヒゲハゼ、ニシキハゼ、リュウグウハゼ、チャガラ、ヒモハゼ、シロクラハゼ、セジロハゼ、アカウオの11種は報告されているが(表1)、著者らによる標本の確認はされていない。南部(1989)は標本に基づき19種の海産ハゼ科魚類を確認したが、その中でクツワハゼ、ホシノハゼ、ヘビハゼ、ヤミハゼの4種が南部(1989)以前の報告には記録のない富山湾初記録種である。

富山湾初記録のハゼ科魚類

標本のデータは、採集場所、採集年月日、個体数、富山市科学文化センター魚類標本登録番号(Toyama Science Museum—Pisces；略号 TOYA—Pi)、採集者の順に記す。和名、学名は明仁親王他(1984)によった。

スズキ目　PERCIFORMES

ハゼ科　Gobiidae

1．クツワハゼ　*Istigobius campbelli* (Jordan et Snyder)

富山市浜黒崎地先(水深15～18m)，19790802，1個体，TOYA-Pi-1758，富山県水産試験場

＊富山市科学文化センター研究業績第89号

1) 富山市科学文化センター　Toyama Science Museum

2) 横須賀市自然博物館　Yokosuka City Museum

2．ホシノハゼ　*Istigobius hoshinonis* (Tanaka)
富山市浜黒崎地先(水深15～18m)，19790802，1個体，TOYA-Pi-1759，富山県水産試験場

3．ヘビハゼ　*Chaenogobius mororanus* (Jordan et Snyder)
氷見市島尾海岸流れ藻，19820528，2個体，TOYA-Pi-1997・1998，南部久男

4．ヤミハゼ　*Suruga fundicola* Jordan et Snyder
富山市浜黒崎地先，19790803，1個体，TOYA-Pi-1999；氷見市阿尾地先，19790817，1個体，TOYA-Pi-2000；氷見市阿尾地先，19790821，1個体，TOYA-Pi-2001；いずれも富山県水産試験場採集．

クツワハゼ、ホシノハゼ、ヤミハゼは、いずれも富山湾沿岸の中央部にあたる富山市浜黒崎地先の水深10m前後で採集されている。これらの標本は、1979年5～8月に、富山県水産試験場の調査により、富山市浜黒崎沿岸の水深5～27mから、底曳網(網口4m)により採集された標本である(土井，1980)。同調査により採集されたハゼ科魚類は目録中でも報告したが(南部，1989)、これら3種に加え、スジハゼ2個体、ヒメハゼ5個体、シマハゼ1個体、ニクハゼ6個体、アカハゼ1個体、コモチジャコ19個体、サビハゼ7個体と多数のマハゼの計11種のハゼ科に属する種が採集されている。採集個体数がハゼ科魚類の生息数をある程度反映していると考えれば、この海域ではマハゼが優先し、今回確認されたクツワハゼ、ホシノハゼの生息数は、他のハゼ科魚類に比べて極めて少ないと思われる。

クツワハゼ、ホシノハゼ、ヘビハゼの3種は、日本の日本海沿岸側からの報告例はなく、日本海沿岸での初記録と思われる。ヤミハゼは、日本海では佐渡(本間・田村、1972)で記録されている。

富山湾からの記録はないが、サツキハゼは対馬(林他，1987)、能登半島の石川県輪島市沿岸(南部，1989)と舳倉島(松浦・新井，1986)から報告があり、現在のところ能登半島周辺が日本海側の分布の北限と考えられる。また、イソハゼ *Eviota abax* (Jordan et Snyder) も富山湾からの記録はないが、舳倉島(松浦・新井，1986)から報告されている。

佐渡島及び新潟県からは37種の海産及び淡水産ハゼ科魚類が報告されており(本間・田村，1972；本間他，1972；Honma and Kitami，1980；本間・水沢，1980；本間他，1984)、大部分が富山湾産ハゼ科魚類と重復するが、イソハゼ、ミサキスジハゼ *Priolepis boreus* (Snyder)、シラヌイハゼ *Ctenogobius dotui* Takagi、ニラミハゼ *Heteroplopomus barbatus* (Tomiyama)、コマハゼ *Luciogobius koma* (Snyder)、オオミミズハゼ *Lucigobius grandis* Arai の6種は富山湾から未記録である。

なお、最近シマハゼの分類学的再検討が行われ、アカオビシマハゼ *Tridentiger trigonocephalus* (Gill) とシモフリシマハゼ *Tridentiger bifasciatas* Steindachner の2種が北海道から九州にかけて生息することが明らかにされた(明仁・坂本，1989)。収蔵目録第3号(南部，1989)で報告したシマハゼは全てアカオビシマハゼと再同定された。

参考文献

明仁・坂本勝一，1989．シマハゼの再検討．魚類学雑誌 36(1)：100-112.

明仁親王・林　公義・吉野哲夫・山本隆治・瀬能　宏，1984．ハゼ亜目．解説．日本産魚類大図鑑(益田　一・尼岡邦夫・荒賀忠一・上野輝彌・吉野哲夫編)，東海大学出版

表1　富山湾及び富山県淡水産ハゼ科魚類目録

		引用文献
※ドンコ	*Odontobutis obscura* (Temminck et Schlegel)	C, D, G
＊ハナハゼ	*Ptereleotris hanae* (Jordan et Starks)	A, B, C, E
＊スジハゼ	*Acentrogobius pflaumi* (Bleeker)	A, B, C, D, F, G
＊ヒメハゼ	*Favonigobius gymnauchen* (Bleeker)	B, C, D, E, G
＊クツワハゼ	*Istigobius campbelli* (Jordan et Snyder)	D
＊ホシノハゼ	*Istigobius hoshinonis* (Tanaka)	D
＊イトヒキハゼ	*Cryptocentrus filifer* (Valenciennes)	A, C, G
＊アベハゼ	*Mugilogobius abei* (Jordan et Snyder)	A
＊ヒゲハゼ	*Parachaeturichthys polynema* (Bleeker)	A3,
ゴクラクハゼ	*Rhinogobius giurinus* (Rutter)	A3, D, G
ヨシノボリ	*Rhinogobius brunneus* Temminck et Schlegel	C, D, G
（横斑型 Cross-band type、黒色型 Dark type、橙色型 Orange type、黒色大型 Large-dark type、るり型 Cobalt type）		
※カワヨシノボリ	*Rhinogobius flumineus* (Mizuno)	C, D
ヌマチチブ 1)	*Tridentiger brevispinis* Katsuyama, Arai et Nakamura	A, B, C, D, G
＊シマハゼ 2)	*Tridentiger trigonocephalus* (Gill)	A, B, C, D, G, E
ウロハゼ	*Glossogobius olivaceus* (Temminck et Schlegel)	A, B, C, D, G
＊アゴハゼ	*Chasmichthys dolichognathus* (Hilgendorf)	A, B, C, D, E, F, G
＊ドロメ	*Chasmichthys gulosus* (Guichenot)	A, B, C, D, E, F, G
＊ビリンゴ	*Chaenogobius castaneus* (O'Shaughnessy)	A1, A2, B, C, D, G
※ジュズカケハゼ	*Chaenogobius laevis* (Steindachner)	C, D
＊ニクハゼ	*Chaenogobius heptacanthus* (Hilgendorf)	A2, A3, C, D, G
＊ヘビハゼ	*Chaenogobius mororanus* (Jordan et Snyder)	D
ウキゴリ	*Chaenogobius urotaenia* (Hilgendorf)	B, C, D, G
シマウキゴリ	*Chaenogobius* sp.1	C, D
スミウキゴリ	*Chaenogobius* sp.2	C, D
＊マハゼ	*Acanthogobius flavimanus* (Temminck et Schlegel)	A, B, C, D, G
＊アシシロハゼ	*Acanthogobius lactipes* (Hilgendorf)	A, B, C, D, G
＊ヤミハゼ	*Suruga fundicola* Jordan et Snyder	D, G
＊アカハゼ	*Amblychaeturichthys hexanema* (Bleeker)	A, B, C, D, G
＊コモチジャコ	*Amblychaeturichthys sciistius* (Jordan et Snyder)	A, B, C, D, G
＊サビハゼ	*Sagamia geneionema* (Hilgendorf)	A2, A3, C, D, E, G
＊キヌバリ	*Pterogobius elapoides* (Günther)	A, B, C, D, E, G
＊ニシキハゼ	*Pterogobius virgo* (Temminck et Schlegel)	A, C, E, G
＊リュウグウハゼ	*Pterogobius zacalles* Jordan et Snyder	A, B, C, G
＊チャガラ	*Pterogobius zonoleucus* Jordan et Snyder	A, B, C, E, G
＊ヒモハゼ	*Eutaeniichthys gilli* Jordan et Snyder	A, B, C
＊シロクラハゼ	*Astrabe lactisella* Jordan et Snyder	A3, C, E, G
＊セジロハゼ	*Clariger cosmurus* Jordan et Snyder	A2, C, F, G
＊ヒゲセジロハゼ	*Clariger papillosus* Ebina	C, D
＊ミミズハゼ	*Luciogobius guttatus* Gill	A, B, C, D, G
＊シロウオ	*Leucopsarion petersi* Hilgendorf	A, B, C, D, G
＊アカウオ	*Ctenotrypauchen microcephalus* (Bleeker)	A2, C, G

Aは菊池(1931)、片山(1940)、津田(1973)からの引用による。全て共通する場合はAとし、共通しない場合はそれぞれA1, A2, A3とした。Bは松原(1955)によるもので、富山湾という記述があるか、それに近い場合、例えば函館以南、という場合のみ引用した。Cは明仁親王他(1984)による。引用方法は、Bと同様である。Dは南部(1989)、Eは鈴木(1966)による。Fは松浦・新井(1986)の舳倉島、Gは本間・田村(1972)の佐渡島である。＊は海産ハゼ科魚類。※は純淡水産である。なお、和名、学名はすべて明仁親王他(1984)によった。1)南部(1989)以外の引用文献ではチチブとなっている。2)シマハゼの分類については明仁・坂本(1989)により2種に分けられたが（本文参照）、ここでは、各文献の記述をそのまま引用した。

会，東京．228-276．
土井捷三郎，1980．昭和54年度放流開発事業報告書、日本海中部海域マダイ班(富山県分)．富山県水産試験場他発行．45-62．
片山正夫，1940．富山湾産魚類目録．富山博物学会誌（3）：53-80．
菊池勘左衛門，1931．富山湾生物調査目録、第3回報告．富山県教育会編集．34pp．
林　公義・伊藤　孝・林　弘章，1987．対馬の淡水・汽水性魚類調査．横須賀市博館報(34)：29-37．
本間義治・田村栄光，1972．新潟及び佐渡周辺水域のハゼ類．新潟県生物教育研究会誌（8）：33-38．
Honma, Y. and Kitami, T., 1980. A list of the fishes found in the vicinity of Sado Marine Biological Station - VI. Ann. Rept. Sado Mar. Biol. Stat., Niigata Univ. (10)：27-48．
本間義治・水沢六郎，1980．新潟県魚類目録補訂(X)．日本生物地理学会会報．35(5)：49-60．
本間義治・水沢六郎・沖山宗雄，1972．新潟県魚類目録補訂(IX)．日本生物地理学会会報．28(4)：47-57．
本間義治・水沢六郎・鈴木庄一郎・岡田成弘，1984．新潟県魚類目録補訂(XI)．魚．(34)：1-10．
松原喜代松．1955．魚類の形態と検索．石崎書店，東京，1605pp，135pls．
松浦啓一・新井良一，1986．舳倉島の海産魚類．国立科博専報（19）：185-191．
松浦啓一・新井良一・塩垣　優・藍澤正宏，1988．下北半島の魚類．国立科博専報(21)：163-176．
南部久男，1989．富山県及び富山湾産ハゼ科魚類収蔵目録．富山市科学文化センター収蔵目録（3）：81-108．
鈴木克美，1966．九十九湾とその周辺の磯魚の生態．能登臨海実験所年報（6）：17-24．
津田武美，1973．日本海の魚、目録・分布と考察．34pp．謄写刷．